

令和6年度小松市立安宅小学校 学校評価 1 (計画)

めざす児童生徒像

(学校教育目標) 人とつながり未来とつながる確かな学びの実現  
 (学校教育目標達成に向けた児童キーワード) 一人一人のステップアップがみんなのパワーアップへ!  
 (目指す児童像) ・あたたかい子・・・相手を理解し、相手の立場に立って思いやれる子  
 ・たくましい子・・・心身ともに健やかで、新しいことにチャレンジできる子  
 ・かしこい子・・・知識を活用し、自ら学びに向かう子

※児童生徒結果-教員結果-保護者結果

目標	項目	目標指標	評価達成度アンケート内容・調査項目	数値・アンケート結果 (%)			※差	達成状況の分析	改善策
				教員	児童生徒	保護者			
学校重点項目 (学校で設定)	学校教育目標の実現	③④の児童アンケートの肯定的な回答90%以上	① 学校が楽しい。						
			② 自分にはいいところがある。						
			③ 「自分から、自分たちから」を意識して行動している。						
			④ 相手意識をもって、あったか言葉を使ったり、あったか行動をしたりしている						
			集計						
重点項目 石川県共通 業務改善	教職員・組織 働き方や組織	①の教職員アンケートの肯定的な回答が100%	① 80時間越えゼロに向け、時間外勤務の削減に取り組んでいる。						
			② 学校組織の中で自分の役割が明確であり、創意工夫しながら取り組むことができている。						

目標	項目	目標指標	評価達成度アンケート内容・調査項目	数値・アンケート結果 (%)			※差	達成状況の分析	改善策	
				教員	児童生徒	保護者				
小松市共通重点項目	学校研究	①②のアンケート結果が80%以上	① 研究主題に迫る目指す授業スタイルを共有し、単元(授業)構想シートなどの具体的な取組を共通実践している。							
			② 授業研究では、教職員一人一人が子供の姿を語ったり、改善案を示したりするなど主体的に取り組んでいる。							
			集計							
	指導力の向上	「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善	④⑤⑥の教職員アンケート、児童アンケートの肯定的な回答が共に90%以上	① 児童生徒は、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる。						
				② 児童生徒は、学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。						
				③ 児童生徒は、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表している。						
				④ 児童生徒は、話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、友達の考え(自分と同じところや違うところ)を受け止めて自分の考えを伝えている。						
				⑤ 児童生徒は、振り返る活動の中で、授業の目標に沿って自分の学びの変容を実感したり、学びに対する達成感を得られたりしている。						
				⑥ 児童生徒は、コンピュータなどのICT機器を、他の友達と意見を交換したり、調べたりするために使用している。						
	学力の向上	カリキュラム・マネジメント	②④の教職員アンケート、児童アンケートの肯定的な回答が共に90%以上	① 指導計画の作成に当たっては、学校の教育目標の実現に向け、各教科等の教育内容を教科横断的な視点で組み立てている。						
				② 児童生徒や学校、地域の実態を捉えて教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立している。						
				③ 全職員が学力向上の取組の目的や意義を理解し、課題の解決を期待できると納得して共通実践に取り組んでいる。						
				④ 校区の小・中学校間で学力について情報交換し、課題について共有している。(小中連携)						
集計										
家庭学習	①②の教職員アンケート、児童アンケートの肯定的な回答が共に80%以上		① 家庭学習の取組として、学習方法や課題の課し方等を校内で共通理解を図っている。							
			② 学習用端末を活用した家庭学習に取り組めるよう課題を工夫している。							
			③ 自己の課題を克服するための自学に取り組んでいる。							
			集計							